

人は皆、やわらかい、
粘土のような状態で生まれる。
でも、「自分」という形を作っていく途中で、
自分じゃない誰かが
「普通」という型を作ってしまう。
どれも同じような作品が立ち並ぶ展覧会よりも、
個々の個性が光るもののはうがずっとおもしろい。

都立篠崎高等学校 1年
門馬 ののか

よく考え直してみて下さい。

あなたのその発言、本当に正しい言葉ですか？
仲間と共に放ったその言葉が、
大切な一つの命を奪うかもしれません。
傷つける方は気づかない。
だからこそ言葉の一つ一つに責任を持ってほしい。
かけがえのない命を奪う前に。

都立篠崎高等学校 1年
山内 咲穂

「○○って変わってるね」
こちらから見れば変わっているのは貴方達。
多人数の人が同じだからって、
皆が皆同じだとは思わないでほしい。
人には人の個性がある。
それをどうか否定しないでほしい。
悲しい。辛い。そんな感情で、心が押し潰されてしまうから。

都立篠崎高等学校 1年
姫井 歩花

近年、世界では多様性という言葉が
知れ渡っています。
どんな自分でも個性になるし、
どんな人を好きになっても個々の自由。
性別や恋愛対象に普通なんてないし、
1つの概念に縛られる方がおかしいこと。

自分自身と向き合い意志を貫くことが大切だと思いました。

都立篠崎高等学校 1年
北林 日菜果

匿名だからと言って
心ないコメントしているあなた。
そのコメント本人に見られているよ。
そのコメント一つで
命を落とせる武器になる。
質問です。
あなたは今一度確認してコメントしていますか？

都立篠崎高等学校 1年
泉澤 花穂

自分の代わりはいくらでもいる、
と思ったことはありますか。
よく考えて下さい。
あなたは世界に一人しかいません。
人間はそれぞれ違った感性を持ち、個性があります。
誰一人あなたと全て同じ人間は存在しません。
今、この世界にはあなたが必要です。

都立篠崎高等学校 1年
橋本 咲紀

「他人のメガネ」をかけて
人生を送っていませんか、
人に「ダサイ」と言われたから髪型を変えたり、
親に「大学に行け」といわれて、
大学に進学していませんか。
あなたの人生はあなたが決めていいものです。
「自分のメガネ」をかけて人生を送りませんか。

都立篠崎高等学校 1年
庄山 大基

私はインターネットを利用するにあたって
気をつけていることが1つあります。
それは「言葉」です。
今SNSでは常に誹謗中傷が話題となり問題になっています。
誹謗中傷は口で言うより
言葉で読んだ方が深く心に刺さってしまいます。
言葉は時に人を殺します。

都立篠崎高等学校 1年
吉原 理子